



みやざき あんこ  
宮崎 杏悟ちゃん (鶉殿)  
令和3年7月5日生まれ  
能爾さん&晴美さんの長男



えのもと そう  
榎本 蒼ちゃん (鶉殿)  
令和3年7月23日生まれ  
貴之さん&萌香さんの長男



うえだ りく  
上田 凌玖ちゃん (鶉殿)  
令和3年7月2日生まれ  
優輝さん&友香さんの次男



まつばら ひまり  
松原 陽茉莉ちゃん (鶉殿)  
令和3年7月16日生まれ  
果唯さん&美沙子さんの長女



まつばら みずき  
松原 瑞希ちゃん (鶉殿)  
令和3年7月16日生まれ  
果唯さん&美沙子さんの次女

【募集】  
満3歳の誕生日を迎える子ども(令和3年9・10月生まれ)を募集します。ご希望の方は、広報係(☎33-0334)までご連絡ください。申込期限は7月31日(水)。



まつばら たかし  
松原 隆さん (成川・34歳)

頼られる職員になりたい!!

◆お仕事は?  
今年の4月から紀宝町役場環境衛生課で働いており、主にごみに関わることを全般を担当しています。まだまだ分からないことが多く大変ですが、早く業務に慣れるようにがんばりたいと思います。

◆趣味は?  
趣味は旅行です。以前、東北や九州地方に住んでいたこともあり、草津温泉や太宰府天満宮など、いろんなところに旅行に行っていました。

◆好きなタイプは?  
一緒にいて楽しい人です。

◆今の目標は?  
今の目標は、現在行っている仕事に慣れることです。そしてほかの業務も経験し、「頼られる職員」になれるようがんばりたいと思います。

◆町にひびく  
この町は自然豊かで時間がゆっくり流れているような雰囲気がいいですね。町外に出ていった人も帰ってきてもっと活気ある町になってほしいと思います。



紀宝町で宝さがし  
森下 香苗さん(平尾井)

私たち夫婦が以前住んでいた名古屋市中川区の市営住宅は、全4棟の268世帯が暮らしていました。そこで主人は33年間自治会長を務め、私も16年間民生委員としてみなさんと活動していましたが、振り返ってみると、多くの方に支えられていたと改めて実感しました。

この町に移住したきっかけは、1年10か月前に46歳の長女をがんで亡くしたことです。娘は小学校で特別支援学級の先生として抗がん剤治療を受けながら、最後まで子どもたちと懸命に過ごしました。何事にもコツコツと努力するがんばる娘は、私の宝物でした。

PROFILE

もりした かなえさん  
約10か月前に紀宝町へ移住された森下さん。「心温まるこの町で、これからも生きていきたい。」と話していました。



移住者交流会でのめはり寿司体験

二女も大好きな姉を亡くし、辛い悲しい中で自身も離婚し、「今の環境を変えるため田舎へ行きたい」と移住を考えていたとき、紀宝町の移住キャンペーンが目に入り「紀宝は宝って書くんだよ」、「そつだね宝だね」と新たな希望を持って移住を決めました。

早速役場の方と連絡を取り、何度か現地に伺い空き家バンクで、家族5人の条件に合ったお家を探していただき、無事昨年8月20日に引っ越ししてきました。

この町は、自然豊かで夜空には満天の星空が輝き感動しました。片付けに追われる中、差し入れていただいたおいしい肉じゃがは、お腹も心も満腹にしてくれました。ある日地域の方から「よく引っ越ししてきた」と箱一杯の柿をいただきびっくりしました。「近所からは新鮮な野菜もい

ただき、本当に田舎の方の温かさを実感しました。9月には小学校で合同運動会が行われ、一生懸命演技する子どもたちに感動しました。また、十五夜の「たばうして」とくる子どもたちのほのぼのとした姿にいやされました。そして素晴らしい出会いがあった移住者交流会、地域のふれあいサロンでは、楽しいプログラムで、笑顔あふれる交流となりました。

この町にきて、今までも沢山の宝を見つけました。これからも地域のために自分らしく貢献でき自身の心の宝を積んでいける感謝の人生でありたいと思います。

7月号は鶉殿の東主さんです。森下さんからは、「これからも気さくな御夫婦のギターと歌声を地域のみなさんの心に届けてください。」